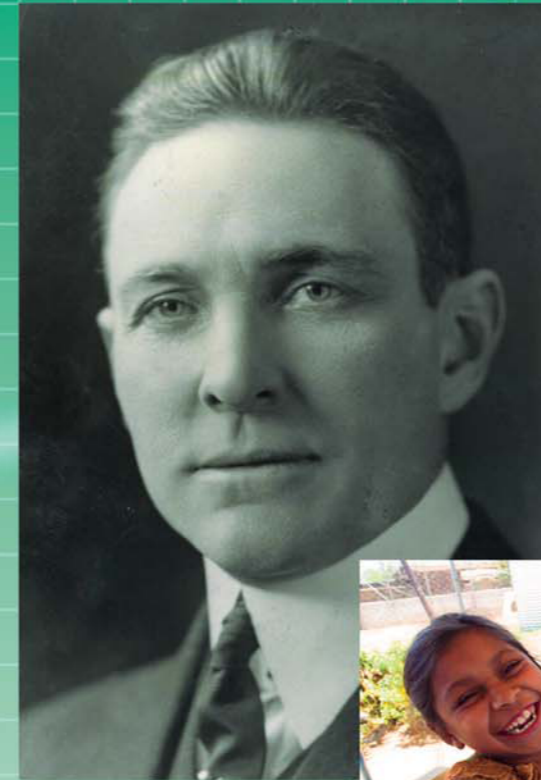


GOVERNOR'S Monthly Letter

8



人類に
奉仕する
ロータリー



Rotary



District 2510

2016-2017年度国際ロータリーのテーマ

「人類に奉仕するロータリー」



国際ロータリー第2510地区 2016-2017年度地区目標

- 全クラブが My Rotary に、登録しロータリー・セントラルで目標を設定して下さい。
- 地区財団活動資金（DDF）の少なくとも 20%以上をポリオプラスに寄贈する。
- ロータリー財団 100 周年を記念し、年次基金への寄付を前年度より 5%増やす努力を。
- 地区全体の会員数を 3%増やす努力を。

魅力あるクラブづくりで会員増強を

CONTENTS

●ガバナーメッセージ	1	●米山奨学生のご紹介	14
●魅力あるクラブづくりで会員増強を	2	●長万部RC・毛がにまつりに出店	15
●ロータリーコーディネーターに就任して	3	●ハイライトよねやま	15
●2016-2017年度 地区委員会活動計画	4	●ロータリーコーディネーターNEWS	16
●新会員の紹介	13	●2016-2017年度地区大会のご案内	17
●2019-2020年度ガバナーノミニ候補者推薦のお願い	13	●地区カレンダー	18
●2017-2018年度青少年交換派遣学生募集要項	14	●文庫通信	19



クラブ運営に大幅な柔軟性 (パストガバナーに偏見を持っていた私)

国際ロータリー第2510地区

2016-2017年度ガバナー **武部 實**
(札幌南RC)

3年に一度開催される規定審議会が2016年4月10日から16日までアメリカ合衆国・シカゴ市で開催されました。当地区からは丸山淳士PGが代表議員として参加され、午前9時から午後5時の予定が議題も多く、更には議論が白熱し翌日からは午前8時から午後7時までの長丁場の連日であったとのこととあります。そう若くもない丸山PGが無事帰国できたことに何よりも安堵致しました。

既に各クラブに国際ロータリー2016年規定審議会「立法案採択集」が届いていることと思いますが、この冊子は丸山PGが老齢に鞭打って一週間以上もシカゴに行き、難しい会議の討議に参加し、自費で出版してでも各クラブ及び地区主要役員に配布したいとの思いで実現したものです。印刷代は前年度の資金で負担致しましたが丸山PGの「自費出版してでも」との思いに感謝の気持ちで一杯であります。

丸山PGばかりではありません。パストガバナーの皆さん方全員がガバナー退任後に地区の主要役員及び日本ロータリーの様々な役員を引き受け、ロータリーを支えているのです。私は5年前、細川PG年度で嫌々ながらガバナー補佐に就任し細川PGのお人柄に触れ今の立場になりました。それまでは、「パストガバナーさん達はいつまでガバナーにしがみついているのか」と、大変失礼な偏見を持っていたロータリアンでありました。地区、日本ロータリー及び国際ロータリーの主要役員はそれなりの経験を積まなければ務まるものでないこ

ともガバナーノミニにノミネートされてはじめて知りました。

大変失礼な偏見を持っていたロータリアンである私のガバナー年度に於いて、何も言わず主要役員をお引き受け下さったパストガバナーさん達に深く感謝する次第です。又、大役の第1ゾーン・ロータリーコーディネーターに就任致しました酒井正人PGは第2510地区の大変な名誉であります。7月から私のガバナー年度が始まりました。今思いますととんでもない役職に付いてしまったことに、その任でない深く反省している次第です。

規定審議会は各クラブの例会方法、会員資格等が各クラブに於いて決定できる柔軟性が多ければ多いほど、クラブに活気が生まれ、会員増強につながりクラブが成長すると判断したと思います。国際ロータリーは全てのロータリークラブが例会や出席、クラブの形態、会員種類等についてロータリークラブ定款に矛盾しないクラブ細則を修正し、柔軟性のあるクラブ運営による会員増強とクラブ成長を期待しているものと思います。又、これらのクラブ細則に変更を加えないクラブは基本的に従来と同じ運営を続けることができます。

規定審議会に於いて採択された本質は、各クラブに大幅な柔軟性をもたせ、クラブ運営の自主性を尊重する内容であります。逆な見方からすると各クラブに大きな責任が発生したと言えます。早ければ今週10月頃に新しい手続要覧(英語版)が発刊される予定です。



魅力あるクラブづくりで会員増強を

地区会員増強委員会

委員長 **嵯峨 義輝**
(岩見沢RC・PG)

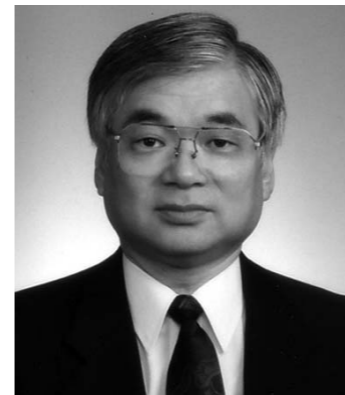
8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。組織にとって会員増強は避けて通れない永遠の命題です。今年度の地区目標は会員数3%の純増です。クラブにおいてはRIや地区から言われるまでもなく、クラブの発展、維持のため、また様々な活動を行っていくためにも日頃から会員の増強には取り組まれているものと思います。新しい会員は我々に新たな刺激をもたらしてくれます。また、入会を勧める行動を通して、更に新しい仲間が増える事によりロータリークラブの活動、魅力を地域に発信する広報活動にもつながってまいります。

さて7月10日に地区会員増強セミナーを開催いたしました。関場慶博パストガバナー(第2830地区弘前アップルRC)より「会員増強に向けて-ロータリーほど楽しいものはない!-」とのテーマで講演を頂くとともに今回は江別RCの増強への取り組みの紹介をさせて頂きました。ロータリーの歴史と理念を再確認するとともに世界でよい事をしている自信を持つこと、そして私達がロータリーの楽しさを実感していなければ入会を勧めるのは難しい事となります。魅力あるロータリークラブであるためには理念をしっかりと心に刻むことは勿論ですが毎週の例会で今日も来てよかったと思える事が重要です。例会の内容、そして仲間と語るひと時の充実が大切です。この工夫は会長・幹事の皆様と執行部の責務です。あらためてより良いクラブ運営をお願いします。また増強に向けては新会員候補者をリストアップします。この時点で「どうせこの人は誘っても駄目だろう」という先入観を持っていない

でしょうか?声を掛けなければ先方から「入会したいのですが」と言ってくることはまずありません。ロータリアンとしての資質があると思われる方には是非積極的に声をかけてみましょう。そしてその後のフォローが大切です。今は入会は無理でも時期が来ればという方もいる可能性はあります。またロータリアンになれなくても私達の良き理解者になってくれることも期待できます。数多くのアプローチを試すとともにつながりを大切にしていきましょう。

昨年、色々な場面で皆様にお話ししてきましたが退会防止への取り組みもお願いします。せっかく入会したのにロータリーの魅力、楽しさに気が付かないまま辞めていってしまう人達が少なくありません。たとえば高校時代を思い起こしてください。しばらく部活を休んでいる友人がいるとします。皆さんどうされますか?クラスの中で、あるいは家まで行って「どうしたんだ?具合が悪いのか?皆、待ってるぞ」と声を掛けたりしたでしょう。今私達はロータリーの友情とかよく使いますが例会を欠席がちな会員に対しては「そういえば最近みかけないな、忙しいのかな」で終わってはいないでしょうか。

色々書き連ねてしまいましたが会員増強に取り組むという事は今一度自分の足元を確かめる機会でもあります。今年度皆様のクラブが素晴らしい活動をされるとともに、そこに一人でも新しい仲間が集うことを期待しています。会員増強委員会の委員はガバナー補佐の皆さんです。地域の実情に精通した方々ですのでも増強を進めてまいりましょう。



ロータリーコーディネーターに就任して

第1ゾーン・ロータリーコーディネーター

酒井 正人
(函館五稜郭RC・PG)

この度は、囃らずもジョン F. ジャーム国際ロータリー会長からの要請により、3月初旬にエバンストンで行われた初任者に義務付けられた研修セミナーを経て、2016年7月1日から2019年6月30日までの任期で、ロータリーコーディネーター(RC)に就任致しました。

ロータリーコーディネーターとは何をするのか解りにくいポストであると思われそうですが、2010年から導入された国際ロータリーの「戦略計画」における3つの優先項目「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」に取り組むために世界の34ゾーンに同地域を担当する国際ロータリー理事の配下としてのロータリーコーディネーター(RC)、ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)、ロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC)、恒久基金/大口寄付アドバイザー(EMGA)の3名のコーディネーターと1名のアドバイザーの一員です。RCの主な職務は、優先項目の「クラブのサポートと強化」に取り組み、充実したクラブづくりと会員の参加を促すことを通じて、ゾーンにおける会員増強を目指すことです。また、

クラブや地区のリーダーに対しては必要に応じて研修や、モチベーター、助言者、相談役、リソースパーソンとなることで直接あるいは間接的にサポートをします。

第1ゾーンにはロータリーコーディネーター補佐が任命されています。第2520地区仙台泉ロータリークラブの菅原裕典PDG、第2560地区長岡ロータリークラブの鈴木重壺PDG、第2570地区富士見ロータリークラブの坂本元彦PDGの3名です。私たちRCとRC補佐は「クラブと地区における戦略計画の立案」を通してクラブのサポートと強化、会員増強を目的とした研修等を必要とするクラブや地区にお手伝いをしますので遠慮なく声をかけてください。

最後に、この度RCの職務を遂行できるのも地区ガバナー退任後パストガバナーとして長年地区の研修部門を担当させていただき、第2510地区の会員の皆様からロータリーを学ぶチャンスを得られたことによるものであると認識して感謝しております。今後共ご指導とご協力をお願い致します。

2016-2017年度 地区委員会活動計画書



委員長
嵯峨義輝
(岩見沢RC・PG)

会員増強委員会

1. 活動方針

RI会長、ジョンF. ジャーム氏は「人類に奉仕するロータリー」をテーマに掲げ、そのためにも会員増強を訴えています。そして武部ガバナーは、3%の増強を地区目標としております。

せっかく我々の仲間になった3年未満の会員の退会が際立っています。ロータリーの良さ、意義を知る前に退会してしまうことは、残念なことです。新会員に限らず、ロータリーの意義深さを知ってもい、退会防止に努め、ガバナー目標が達成できるよう活動します。

2. 活動計画

(1) 2016年7月10日地区会員増強セミナーの開催第2830地区パストガバナー、関場慶博氏(弘前アップルRC)をお迎えし、「会員増強へ向けて-ロータリーほど素晴らしいものはない-」と題して講演いただきます。また、他クラブへの参考として、昨年度会員増強に先進的に取り組まれた江別RCに事例発表していただきます。

(2) 増強委員であるガバナー補佐の皆さんと協力して、各クラブ会員増強の支援を行います。

(3) 退会者について、退会理由の検証をしっかりと行い、会員維持率の向上に向けて努力します。



委員長
羽部大仁
(札幌南RC・PG)

RI国際大会推進委員会

1. 活動方針

(1) 2016-17年度はロータリー財団創立100年を迎え、この年はアメリカ・ジョージア州アトランタでの開催となります。多くの参加が求められています。

(2) 我が2510地区武部 實ガバナーはアトランタ国際大会に70名の参加を希望されています。是非多くの地区内ロータリアンと一緒にアトランタ国際大会へ参加を獲得するために活動します。

(3) 地区広報・IC委員会とも連携して推進したいと考えています。

2. 活動計画

(1) PETSや地区・研修協議会でPRする。

(2) ガバナー月信を通じて(数回)登録とツアーへの参加を推進する。

(3) ツアーについても幾つかのプランを提案したい。

(4) 国際大会への参加は世界中のロータリアンと友情を育み世界平和の理想を身近に体験出来る良い機会であることをPRする。

(5) 地区のホームページに、大会の登録と参加を推進したい。



委員長
細川好弘
(静内RC・PG)

拡大委員会

1. 活動方針

ジョン・ジャームRI会長は「新会員の入会や新クラブの結成だけでなく将来にロータリーのリーダーとなれるロータリアンを増やすことです」とコメントされております。ガバナー補佐の皆さん初め地区役員の方々からの情報を共有しながら地区拡大を目指しますが、ロータリープログラムを体験された青少年各位に未来をロータリーでのメッセージを届けたい。

2. 活動計画

(1) ロータリープログラムから将来のロータリアンへの道を探る。

(2) ガバナー補佐、地区役員との情報共有

(3) 衛星クラブの支援

(4) 青少年奉仕プログラムへの広報

(5) モーニングクラブ、Eクラブの設立の可能性について検討



委員長
岩崎修一
(札幌東RC)

文献資料室

1. 活動方針

次世代の文献資料室作りを目指します。次の世代への文献資料収集や、提供方法について検討します。

①資料の収集や貸出、図書・DVD等の購入は例年通り行います。

②新たな文献・資料の収集や提供についての検討を行います。

2. 活動計画

(1) 新たな文献・資料の収集方法の検討

①インターネットでの文献情報の収集の検討

Rotary.orgや全国各地のロータリークラブのホームページ上で様々な資料が公開されていますが、こういった情報の収集方法について検討します。

②各クラブの文献情報の収集の検討

各クラブでの会員卓話など、身近な活動の文献資料化(ビデオ、文書)を検討します。

(2) 提供方法の検討

前記収集文献、及び、既存文献資料について、クラブやクラブ会員の方が活発に活用していただけるよう、提供方法を検討します。

①地区ホームページはもとより、Facebookなどの外部SNSを活用した文献資料の情報提供。

②地区内クラブだけではなく全国のクラブへの文献提供・発信力をつけるための方法。



委員長
菅原秀二
(札幌大通公園RC)

学友委員会

1. 活動方針

(1) 青少年交換、ロータアクト、インターアクトのOBの名簿整理等組織化を推進する。

(2) 財団学友や米山学友と上記のOBとの交流を推進し、お互いの活動についての理解を深める。

(3) これらの学友の活動に対して支援する。

(4) 学友のロータリー活動への参加を推進する。

(5) 学友に対するロータリアンの理解向上のための活動を推進する。

(6) 学友とロータリーをつなぎ、ロータリアンとなることを推進する。

2. 活動計画

(1) 学友委員会を定期的に開催する。

(2) 学友すべてが集まる「活動報告会」(仮称)を開催し、学友相互の親睦と理解を図る。

(3) RYLAセミナーの開催を図る。

(4) 財団学友会総会と米山学友会総会の開催を支援する。

(5) 日本ロータリー学友会との交流を推進する。

(6) ロータリー奨学金およびオリエンテーションへの協力を推進する。

(7) 財団学友会ニューズレターの発行を支援する。

(8) 学友に対し第2510地区大会へのブース等の参加とクラブ例会での卓話を推進する。

(9) 学友に対し、My ROTARYのアカウント登録を促し、共通の名刺作成を推進することにより学友間の連帯を醸成する。



委員長
杉江 俊太郎
(小樽RC)

広報・IC委員会

1. 活動方針

- (1) 広報とICの連携したロータリー広報のあり方の調査・検討
- (2) 各クラブ広報活動との連携、取りまとめ、サポート体制の構築
- (3) マスコミと連携したロータリー広報活動の展開
- (4) 「My ROTARY」登録に向けたさらなる推進
- (5) 地区ホームページの充実

2. 活動計画

当委員会は、広報委員会とIC委員会とが関連性が強いことと連携強化を目指して併合し、3年ぶりに広報・IC委員会となりました。昨年度の広報委員会では、「ロータリーとロータリーの活動」の認知度や理解度を少しでも深めて頂くための第2弾として、電子媒体を利用するための動画を「ガバナー編」と「ロータリー編」の2本製作しユーチューブにアップしました。またIC委員会では、地区会員へ「My ROTARY」の理解度をアップして頂くために例会訪問や研修会などを実施して登録を推進するとともに、地区ホームページの充実を図ってきました。今年度も引き続き「ロータリーの正しい広報」と「IC化に向けた推進」を実践・提唱していきたくて考えておりますので、各クラブ会長をはじめ地区内全てのロータリアンにご協力をお願い申し上げます。



委員長
玉井 清治
(函館亀田RC)

職業奉仕・基本理念委員会

1. 活動方針

職業奉仕委員会に「基本理念」の字句が加わったことにより、従来型の方針を大きく変える必要性がでてきました。職業奉仕の素晴らしさを説明しようとしても、現実のRIからの指示等がかみ合わないという状態が続いている昨今、基本的な奉仕理念だったはずの職業奉仕を今一度討議・勉強し、ロータリーは職業奉仕理念を持った団体だという意味を各クラブに今まで以上に持っていただくべく活動してまいります。武部ガバナーの方針に沿い、今までの論理の押しつけではなく、これからの時代の変化に即応した職業奉仕を委員会内及び各クラブ職業奉仕委員長さんとともに塚原パストガバナーのアドバイスをいただき討議し活発に委員会活動を進めてまいります。また、広く理解していただけるように少しでも解りやすく、シンプルにコンテンツを作成し配布してまいります。

2. 活動計画

- (1) 各クラブ職業奉仕委員長さんと「チャットワーク」にてネットワークを組み、リアルタイムに地区委員会内に参加いただき、意見や質問に答える。また、これを利用して参考文献や情報を配布する。
- (2) Web会議を含めた地区委員会会議を2ヶ月に一度開催し、勉強会を実施する。
- (3) パワーポイントにて作成した資料を定期的に希望するクラブに提供し、卓話等に利用していただく。
- (4) 職業奉仕についてのクラブからの卓話要請にこたえる。

RYLA担当

1. 活動方針

前年度増山ライラ委員長の元、国際ロータリー第2510地区のライラセミナーを開催してきて、この地区においてセミナーの基礎が出来てきたところであります。今年度はライラ委員会はなくなり、ライラセミナー実行委員会としてセミナーを開催することとなりましたが、今までの実績を元に更に地区内の青少年育成の為にセミナーを充実させていく所存です。又今年度からは、奉仕プロジェクト委員会に所属し各委員会からセミナー実行委員として入ってこられるので、各委員会の協力のもと連携を図り皆でセミナーを成功させていく所存です。



委員長
長田 正文
(岩見沢東RC)

2. 活動計画

武部ガバナーより、地区大会当日の並行プログラムとしてセミナーを開催していただきたいとの話があり、実行委員会としても地区大会に向けて全力で成功させようと頑張っております。まだ具体的な内容まで進んでおりませんが、地区大会まであまり時間がございませんので、早急の内容を検討していきます。セミナーの後は1人でも多くのライラリアンが出るように、セミナー後のプログラムも検討している所です。



委員長
遠藤 浩一
(岩見沢RC)

社会奉仕委員会

1. 活動方針

ロータリーの原点はクラブの主体性にあることを確認し、地区委員会は、常にクラブと共にあることを自覚し、活動への支援に努めていくことを方針とする。各クラブの活動がより一層活性化するため、定期的に活動内容を把握し、その内容について提供する等の情報交換の機会を行い、社会奉仕活動の充実に寄与します。

2. 活動計画

- (1) 社会奉仕活動レポート「明日へ」の活用とともに、現在の活動内容や今後の計画、課題を把握し、クラブに対しどのような情報交換等の機会が必要か検討する。
- (2) 公共イメージの向上となる活動について、広報・IC委員会と連携しウェブサイト等を利用した広報を行います。
- (3) 地区の奉仕プロジェクト委員会との連携した、奉仕活動の継続と推進を行います。
- (4) 財団との連携により、補助金制度を活用した活動を推進します。
- (5) 各クラブの奉仕活動に積極的に参加します。



委員長
谷口 正樹
(滝川RC)

国際奉仕・VTT委員会

1. 活動方針

第2510地区各クラブの皆様へ、地区国際奉仕・VTT委員会の活動を理解していただき、国際奉仕事業へ参加していただけるようにサポートする。今年度よりVTT委員会と統合したことにより昨年度より事業展開しているタイ国第3340地区ノンカイ「ロイヤルキングスクール」における職業訓練支援事業とより深く踏襲し、各クラブからのより大きな理解を得るものとする。また国際奉仕事業・VTT事業には地区ロータリー財団等との連携をとるものとする。

2. 活動計画

- (1) 国際奉仕事業の実施
各クラブに、支援国の実情に応じたモデルプランを提供し、国際奉仕事業をお願いする。また、国際奉仕活動には、各クラブからの支援を中心に地区ロータリー財団やほかの地区各委員会の協力を得て、事業をスムーズに展開する。さらに、事業検証ツアーを実施し、事業の実施状況を確認するとともに相手国ロータリークラブとの友好を図り、長年築いてきた絆をさらに強いものとし、将来の展望を協議していくものとする。
- (2) 職業訓練奉仕事業（VTT事業）の実施
昨年度来展開しているタイ国第3340地区ノンカイにある「ロイヤルキングスクール」における職業訓練奉仕事業をさらに展開し、そして検証することによって目的を達成していく。
- (3) 国際奉仕事業の啓蒙
卓話、ロータリー雑誌、地区行事、ホームページ等にて地区国際奉仕事業・VTT事業を紹介し、多くの会員に理解そして賛同を得ていくものとする。
- (4) 「未来の夢計画」の中で
「未来の夢計画」の中で実施している事業を十分に検証し、将来へ向けて事業展開ができるように研鑽を深める。



委員長
西村 英晃
(恵庭RC)

青少年交換委員会

1. 活動方針

- (1) 受入学生と派遣候補生との交流の場を作り、その中にROTEXの参加を促し、同じ境遇に出会った者とこれから出会う者同士が意見交換、アドバイス等出来る場を作る。
- (2) オリエンテーションを通し、YEPの意義、ロータリーの理解を深めてもらう。

2. 活動計画

- (1) 派遣オリエンテーション実施(年6回予定)
- (2) 秋季、冬季のキャンプ実施(例年通り11月、3月)
- (3) 第2500地区との交流を実施(年3回予定)
- (4) オリエンテーション時にROTEXに参加してもらい、実体験報告、スピーチ実施。
- (5) 地区研修・協議会分科会にて、受入学生の日本語でのプレゼンテーションをホストクラブでの模擬卓話として実施。



委員長
齋藤 貴之
(札幌モーニングRC)

インターアクト委員会

1. 活動方針

第5の奉仕である青少年奉仕について、未来のロータリアンを育成し、またボランティアシップを育むために、各プログラムにおいて意義付けを明確にして実施して参ります。また関係する高等学校やインターアクターに対してロータリークラブの奉仕の精神は基より、その役割や重要性をしっかりと伝え、ロータリー学友の一員であることの意識と自覚を持ってもらえるように努めて参ります。地区内でもインターアクトの活動について発信をしていくことで、提唱クラブの輪を超えて、様々なクラブが青少年奉仕の重要なプログラムとしてのインターアクトクラブに対し理解と協力を深めて頂けるよう推進致します。青少年交換・ロータアクトクラブ・RYLA・学友・奉仕プロジェクトの各委員会との連携強化を行います。

2. 活動計画

- (1) 年次大会の開催(2017年6月下旬予定)
ホスト:北海道岩見沢緑陵高等学校(提唱クラブ:岩見沢ロータリークラブ)を通じて様々なテーマで学びの場を自ら実践し、他のインターアクターとの交流を図り、各校の活動報告の場とすることを旨とする。
- (2) 研修旅行の実施(2016年8月6日~9日予定 3泊4日 台湾)
昨年、悪天候による未実施の国際ロータリー第3490地区の青少年との交流。「学び・体験・交流」の意義付けを明確にし、歴史的背景と日本の関係や文化について学び、語学やコミュニケーション、また海外でのふれあいを体験、地元の社会福祉施設の訪問及びロータアクターを中心としたロータリアンとの国際交流を実施。
- (3) 地区大会参加の奨励(並行プログラム等)・ブース等の出展による活動報告の発信。
- (4) 年4回の地区委員会の開催。その他必要に応じ活動の活性化を目指し、地区委員と顧問教諭との会合実施。
- (5) 各インターアクトクラブ間の情報交換・交流の推進。ロータリークラブへの理解を深める。
- (6) インターアクター卒業後のロータアクトクラブ入会促進。またロータアクターと共同例会を計画。
- (7) 学友委員会への協力。
- (8) 新規インターアクトクラブ設立支援。



委員長
石山 嘉治
(森RC)

ローターアクト委員会

1. 活動方針

- (1) 昨年度強化した地区委員会とローターアクト地区役員間の連携を更に強固なものとする。
- (2) 自主性を尊重しながらローターアクト戦略計画を作成しその支援とサポートに努める。
- (3) 新たなるローターアクトクラブ設立を促すため、地区内ロータリークラブに情報を提供する。
- (4) 地区ホームページにリンクしているローターアクトクラブページに地区内ローターアクトクラブの奉仕活動が掲載されるよう活動の周知に努める。

2. 活動計画

- (1) 第17回アジア第1ゾーン会議成功に向け、地区委員会、ローターアクトと一体で取り組む。
- (2) 地区内で行われる地区ローターアクト主催行事及び全国で開催されるローターアクト会議に多くのアクターが出席しスキルアップを図れるよう積極的な参加を促す。
- (3) 地区内ロータリークラブにローターアクトに関する情報を提供し周知に努め、新たなるローターアクトクラブ設立に向けての様々な情報収集し提供する。
- (4) 新たにローターアクトクラブ設立を準備しているクラブに対し設立に関するノウハウの提供、以前提唱クラブであったロータリークラブにあっては出向いて再結成することを促す活動を行い、新規ローターアクトクラブ設立に尽力する。
- (5) ローターアクト設立に掲げられている三つの理念「専門知識・指導力開発・奉仕プロジェクトの実施」に立ち返りアクターの能力向上に努める。



委員長
丸山 淳士
(札幌真駒内RC・PG)

ロータリー財団委員会

1. 活動方針

2013年度から「未来の夢計画」が実践段階に入り、3年目となります。また、2016-2017年度でロータリー財団100周年目の節目ともなります。ロータリー財団の重点項目を再認識し、具体的活動につなげて参ります。各委員会と連携を深め、それぞれの委員会がスムーズに活動を遂行できるよう協力関係の強化を図ります。

2. 活動計画

国際ロータリーのプログラムである、今年度のリワードプログラムを財団委員会の中に取り込み、財団の各委員会と協力を深めながら具体的活動を計画します。財団関係各委員会に出席し、その活動が最大の効果を上げるよう支援と協力をします。地区の各クラブが、財団の資金を利用してより大きなプロジェクトを遂行できる手助けをします。財団の重点項目と財団の理解を深めるため、要請があれば各クラブを訪問し、卓話などでの協力を致します。



委員長
松原 重俊
(砂川RC)

財団資金管理担当

1. 活動方針

2013年度に本格的に実施された「未来の夢計画」は、クラブ内にも浸透し地区補助金を利用するクラブも年々増えてきており、地区ロータリー財団各委員会、各奉仕委員会も有効に財団資金を活用しています。ロータリー財団の存在が益々重要になっているだけでなく、各クラブの皆様にも必要性を理解するきっかけになっていると思われます。

- (1) 補助金についての資金活用、資金管理を適切に行う。
- (2) 各奉仕委員会(国際、社会、青少年等)との連携を一層深める。
- (3) 各クラブの補助金の参加資格取得に向けて、指導助言を適切に行う。

2. 活動計画

- (1) 地区の参加資格認定手続き、クラブの参加資格(クラブ覚書・MOU)の取得を支援する。
- (2) 「補助金管理セミナー」の実施を支援する。
- (3) 補助金に関する財団への報告を始め、クラブと地区が提唱する全ての補助金において、適切な補助金管理を徹底させる。また、地区内クラブに適切に公開されるよう指導する。
- (4) 各奉仕委員会(国際、社会、青少年等)との連絡調整する。



委員長
坂下 賢二
(函館セントラルRC)

財団資金推進担当**1. 活動方針**

本年度の活動方針は、前年度と同様に財団への寄付の管理運営を図り、寄付金額に対して理解を図ると共に増進強化に努め、クラブの寄付を向上させる努力をまいります。

2. 活動計画

- (1) 毎月、寄付額について把握する。
- (2) ポリオプラスへの寄付を推進する。
- (3) 大口寄付者、ポールハリス・ソサエティを推進する。
- (4) 財団ポイント利用による寄付推進を図る。
- (5) 税制上の優遇措置を広め、寄付の推進を図る。
- (6) 1人当たり150ドルの寄付を推進する。



委員長
鍋谷 操子
(函館セントラルRC)

グローバルリワード担当**1. 活動方針**

- (1) ローターリーグローバルリワード会員特典プログラムの周知を図る。
- (2) ローターリアンへの普及を奨励し、利用促進に努める。
- (3) RIや日本他地区の動向等を把握するとともに、会員の意見を参考にしてスムーズな導入に努める。

2. 活動計画

- (1) 委員会設置の趣旨、特典プログラムの内容・利用方策等について、冊子「ガバナー月信」に投稿する。
- (2) ガバナーエレクト研修会、地区セミナー(財団セミナー等)でプログラムについて説明をし、普及を奨励する。



委員長
齋藤 康嗣
(札幌真駒内RC)

財団補助金委員会**1. 活動方針**

2016-2017年度の地区財団補助金活動計画

地区財団補助金を各クラブに支給する時期を新年度の8月中にする。今年度は、地区補助金は447万円を予定しております。前年度と同等の予算は申請期間、地区での審査期間も短く、委員の負担もおおきいので、前年度に決めたルール、優先度を基本に活動をしていきます。

2. 活動計画

- (1) 2016年5月31日で2016-2017年度のクラブからの申請書を締切る。
- (2) 各クラブからの申請書をまとめ、審査資料を作成する。

- (3) 2015年6月初め～6月末 申請内容を委員会で審査する。

6月、3回内容を審査し、各クラブと話し合いをする。

- (4) 6月末に採用するプロジェクトを決定する。
- (5) 7月中旬にロータリー財団に決定した金額を申請する。
- (6) 8月財団から入金された金額を、8月中に各クラブ指定の口座に支払う。
- (7) 各クラブから採用され実施したプロジェクトの報告を受ける。
- (8) 2016-2017年度採用されたプロジェクト状況を纏める。

優先度

- 1 障害者支援
- 2 児童養護施設支援
- 3 人道事業(国内、国外)
- 4 奨学金(他基金との重複は不可)
- 5 環境保全事業
- 6 海外(国内)文化事業
- 7 新世代関連事業

条件

- ・各クラブの3年前の寄付金の1/4を基準
- ・最高額30万円
- ・1クラブ1プロジェクト
- ・申請は2016年5月31日締切
- ・申請時:申請書、指定口座、見積書



委員長
齊藤 博司
(千歳セントラルRC)

奨学金委員会**1. 活動方針**

本年度の活動方針は、前年度同様に地区補助金を活用しての文化研修奨学生(3ヶ月・6ヶ月)とグローバル補助金を活用しての1年度奨学生(大学院程度)の留学生を募集致します。出来るだけ当地区に留まり、帰国後は第2510地区学友委員会がサポートする学友会会員となり、当地区において、その国際感覚・知識およびボランティア精神をロータリアンのみならず、地域社会に大いに貢献することを期待しております。当委員会は、こうした奨学生の選考と共に、留学に出発するまでのサポートを行い、また現地とのコミュニケーションをはかっております。各クラブからの積極的な奨学生の推薦を期待しております。次に財団奨学生制度について、広く当地区内企業・教育機関などに啓蒙していかなければならないと考えております。

2. 活動計画

- (1) 奨学金の種類と支給額および奨学生の人数などの検討。(第1回委員会)
- (2) 募集要項・ポスターなどの印刷およびそれらの送付作業。(第2回委員会)
- (3) 募集開始(当地区ホームページ)・受付業務(委員長に集約)。
- (4) 各クラブへの申請書提出締め切りの確認(2016年5月31日をもって締め切りとする)
- (5) 各クラブからの当委員会への提出締め切りの確認作業。
- (6) 当委員会での書類審査(第3回委員会)・面接選考(第4回委員会)の活動を実施してその後、最終合否結果を本人と推薦クラブに通知する。奨学生候補者に対してオリエンテーション(委員会も同時に行う)を数回実施し、またその間に、相手国の受入れホストRCとの交渉も併せて行う。そして、文化研修奨学生については、本年度中に派遣し、1年度奨学生に関しては、大学院レベルの留学になるので留学先大学の体制の事などを考慮して次年度の派遣になると考えております。また、ロータリー財団の承認が必ず必要となります。次に、留学生の受入RCの選考・交渉および調整などに学友会員のコネクションや助言が不可欠になります。従って、学友によるアドバイザーが組織的に必要であると考えます。この事から、当委員会と学友委員会および学友会とは密接な関係でなければならない。
- (7) 学友会による帰国報告会への参加(第5回委員会)
- (8) 2015-16年度でのオリエンテーションは3回実施した。本年度も同様と考える。従って、委員会も3回以上は実施する計画。
- (9) 当地区での啓蒙活動として、種々の企業・組織などの人脈を通して出前説明会などを計画している。



委員長
岡崎 芳明
(小樽南RC)

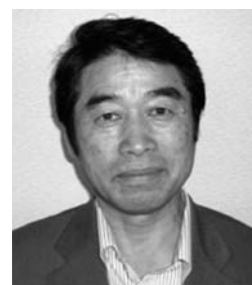
ポリオプラス委員会

1. 活動方針

- (1) ローターリー財団創立100周年にあたりロータリーが世界の子供たちに対する貢献と未来に対する課題などの情報を発信し、ポリオ撲滅寄付の理解促進に努める。
- (2) ポリオ撲滅に対してグループやクラブが地域社会等との連携や協力を図り、募金活動やイベント活動を積極的におこなう事を推奨しサポートしていく。
- (3) ポリオ撲滅活動を通してロータリーの公共イメージの向上をはかる。

2. 活動計画

- (1) 会員一人30ドルのロータリー財団ポリオ撲滅寄付目標について、会員の理解と協力を促進すると共に、1500ドル以上の寄付によりクラブ表彰を受ける事を広報し、地区目標達成に努力する(会員1人30ドル達成のクラブに対してポリオ委員会より達成記念品を進呈する)。
- (2) 世界のポリオ撲滅活動の近況情報をガバナー月信や地区ホームページに掲載し、また卓話や研修などを通して地区内の理解を深めるようにしていく。
- (3) 地区大会にてポリオ委員会ブースを設置、ポリオ撲滅活動を更に推進していく。
- (4) 各クラブに対しポリオ募金活動を実施するに当たり、立案された活動計画をロータリークラブ・セントラルに輸入頂き情報共有を図る。
- (5) ポリオ撲滅活動の広報や募金活動の為にポスターやノベルティグッズを必要に応じて提案・作成しRI第2510地区内のクラブに提示しサポートする。併せて地区内で行われた奉仕活動の動画や静止画を募集する。
- (6) 上記の活動をする為のポリオ委員会を定期的に開催する。



委員長
大石 清司
(新札幌RC)

米山記念奨学・学友委員会

1. 活動方針

- (1) 米山記念奨学事業へのご理解・ご協力を推進します。
 - ① 事業の目的の周知徹底
 - ② 寄付目標: 16,000円(普通寄付4,000円、個人寄付12,000円)
この目標達成の為、各クラブ、各会員のご協力を依頼します。
- (2) 米山学友会の運営や事業をサポートし、米山学友会員と米山奨学生・ロータリアンとの交流を深めるための活動を支援します。

2. 活動計画

- (1) 年5回程度の委員会の開催
- (2) 各クラブでの奨学生・学友の卓話の開催、とりわけ米山奨学生の受け入れた経験のないクラブには、米山月間を中心に奨学生を派遣し卓話を実践します。
- (3) 奨学生・学友が多くのロータリアンと交流の機会を持てるよう配慮致します。
- (4) ローターリーが目指す国際平和のための活動の一つである米山奨学事業に対する理解・ロータリーの奉仕活動に対する理解を奨学生の皆さんに機会あるたびに各クラブ・米山学友の力も借りながら話し深めていきます。
- (5) 米山学友会の行事(総会・懇親会)にロータリアンの参加を呼びかけます。
- (6) 米山学友会と米山奨学生並びに財団学友会と交流促進を図ります。
- (7) 地区大会に米山学友会・米山奨学生としての参加を支援します。
- (8) 米山学友も含めた米山奨学生間の交流とカウンセラー研修を兼ねた研修旅行を企画し、ロータリーへの理解を深める大きな機会と致します。

新会員の紹介

(敬称略)



札幌はまなすRC
大西 誠
7月5日入会
電力供給



札幌はまなすRC
高杉 昇
7月5日入会
建築設計



恵庭RC
福田 悟
7月6日入会
職別工事業



恵庭RC
白鳥 洋子
7月6日入会
情報サービス業



恵庭RC
尾谷 敏利
7月6日入会
新聞販売



滝川RC
浜田 静夫
7月7日入会
電力業



滝川RC
西村 和之
7月7日入会
金融業



滝川RC
山岸 穰
7月7日入会
農業



滝川RC
佐竹 春敏
7月7日入会
食料品販売業



新札幌RC
富島 誠一
7月13日入会
食料品卸売

2019-2020年度 ガバナーノミネー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 武部 實
地区ガバナー指名委員長 安孫子 建雄

2019-2020年度地区ガバナーノミネー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長(地区ガバナー事務所気付)宛、文書(書式任意)をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナーノミネー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項~5項及び第8節の資格条件に適していることを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第13条(ガバナーの指名と選挙)
国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定
(1998-1999年度地区年次大会決議第8号)

国際ロータリー第2510地区青少年交換委員会
2017-18年度青少年交換派遣学生募集要項

2017-18年度の派遣学生を下記の要項に基づいて募集いたします。ロータリーの親善大使としてふさわしい学生をご推薦いただきますようお願いいたします。

派遣期間 2017年夏頃からの1年間(11ヵ月以上1年未満)
※派遣国により出発月は異なる。

派遣予定国 アメリカ、オーストラリア、フィンランド他
第一希望国に必ずしも行けるとは限りませんのでご理解願います。

募集人数 若干名

応募資格 2017年1月現在15歳以上19歳未満で、中程度の学業成績があり
 ロータリーの親善大使として積極的な態度をもつ男女。
 ロータリー会員の子であるか否かは問いませんが保護者と在籍学校
 および推薦ロータリークラブの全面支援を必要とします。

自己負担費用 往復の旅費、保険、出発準備費用等

応募方法 推薦ロータリークラブを通じて別添のエントリー用紙を委員会宛にお送りください。

一般締め切り 2016年8月20日

一般選考会 2016年8月27日(土)17時からを予定しています。
※開催場所:選考会ご案内時連絡、北海道札幌市内

選考方法 面接、英語リスニング

問い合わせ先

国際ロータリー第2510地区青少年交換委員会事務局
 〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7階 ガバナー事務所内
 TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512 E-mail:yec-rid2510@spa.nifty.com
 青少年交換委員長 西村 英晃(携帯:090-5072-9985)

★米山奨学生のご紹介★

ロータリーのおかげでできる社会見学...クーン・トビアス(新札幌RC)

ロータリーの米山奨学生に選ばれなかったらどれほど違う生活を送っていたものだろうか。新札幌ロータリークラブの会員からそう簡単に目にできないところを沢山見せていただいています。3週間ほど前に、南部様が僕を息子さんの運動会に誘ってくれました。日本の小学校の運動会を生で体験することが出来て嬉しかったです。騎馬戦とレースのときの非常に上手な子供スポーツアナウンサーと豪華な食事が特に印象に残っています。

その1週間後、村上様が自分の運営する会社を案内してくださいました。決して普通の留学生なら出来ない経験でした。印刷室で仕事内容を説明してくれた明るいお姉さんと小切手の仕組みの説明を良く覚えています。村上様は他にも色々なところに誘っていて、大変お世話になっております。

大石様がこの間、技術系の小さい会社に連れてくださって、それであるプロジェクトに参加することが出来て面白かったです。そして、つい昨日、有田様が羊ヶ丘養護園を案内してくださいました。

このようにして、ロータリーの皆様に日本のあらゆるところを見せていただいています。日本を知る機会を沢山受けて心から感謝をいたします!



長万部毛がにまつりに長万部RC出店

今年度の武部ガバナーは「地域と共に」を地区目標の1つに掲げています。

7月3日、前第10グループ担当の坂本G補佐(函館RC)、現第10グループ担当の稲葉G補佐(函館RC)が毛がにまつりの当クラブ・ブースで行われた移動例会に出席され、綿あめの制作にお手伝いしていただきました。

綿あめの味も濃厚でジューシーなど町民からお褒めの言葉もいただき、当クラブの綿あめ密度は濃いとの評判です(笑)余剰金に関しましては社会奉仕に使用します。

他に、森RC3名、七飯RC1名、函館東RC1名、函館RC1名のメーキャップがありました。写真は前、現ガバナー補佐が一生懸命に綿あめを作ってる姿です。次の人生は露天商だそうですね?(笑)



★ハイライトよねやま196号★

《今月のピックアップ記事》

2016年7月12日発行
 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

海外7つ目!スリランカに米山学友会が誕生

海外7つ目となる、スリランカ米山学友会の創立総会が6月25日、コロンボ市内のホテルで開催されました。学友約30人のほか、創立に尽力した第2530地区(福島県)や第2700地区(福岡県・佐賀県・長崎県)のロータリアンも多数日本から駆けつけました。

菅沼健一在スリランカ日本大使や現地のガバナー夫妻、当会の小沢一彦理事長も出席し、総勢100人を超える盛会に。ラビンドラン国際ロータリー会長(当時)からは温かな祝辞が寄せられました。

創立会長のラクナース・ガマゲさん(1993-95/宇部西RC)は「会員は皆、米山の精神をもって国の発展や日本との友情に尽力しているが、一緒になることでより強く活動を広げていける」とあいさつ。日本の地区と協同で行う奉仕活動も計画されており、スリランカ米山学友会の今後の活躍が期待されます。

記事の続き、および、そのほかの記事は、ぜひPDF版をご覧ください。

http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight196_pdf.pdf

Rotary Zones 1&2&3



コーディネーター NEWS

2016年8月号
発行: Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
今月号の担当 Zone 2 RC

■規定審議会

2016年の規定審議会ではロータリーの歴史上、革新的な内容が多く含まれています。各クラブの裁量が大きくなり、クラブ自体の責任の重さと選択肢が増え、地区およびクラブのリーダーの方々は困惑されていると思います。

規定審議会に出られた日本の代議員の方は日本と世界の乖離があり、価値観、宗教、言語も違い、一つのルールでまとめるのは困難と感じておられました。日本と世界は流れが異なっており、日本が孤立しないよう、批判をするのではなく世界に働きかける行動が必要であると思います。選択された立法案は高齢化していくロータリーを止めるために、若い人の入会を促進するためにハードルを下げた感があります。日本のロータリーはきちんと素晴らしい運営をしています。

他の国に示しをつける価値観を持ち続けてほしいと思います。いずれにしても各クラブが主体です。各クラブの裁量権をもってルールを決めてください。

■2016-17年度目標

RIテーマは「人類に奉仕するロータリー」です。全体の目標はまさしく戦略計画の3つの優先項目そのものであります。特にロータリー財団100周年の年でもあり、財団目標も盛り込まれています。

■戦略計画

地区にもクラブにも戦略計画は必要です。地区とクラブの戦略計画を整合し、ダイナミックなクラブを築きましょう。戦略計画はクラブや地区が将来こうありたいというビジョンを描き、それに添った目標と行動計画を立てることです。そのためには、単年度を超えた長期的視点が必要です。My ROTARYに登録して、役立つ情報からスキルと知識を高めてください。

■ クラブ数	会員数
Zone 1	832
Zone 2	653
Zone 3	794
合計	2,279

■ My ROTARY未登録者	
Zone 1	23,755
Zone 2	22,712
Zone 3	28,793
世界の未登録者は	71.59%

■ BOX登録件数	
Zone 1	41件
Zone 2	15件
Zone 3	79件
6月末現在	合計 135件

2016年6月28日現在のClub Centralのデータです。



ロータリーの戦略計画と目標



国際大会に出席したことがあるロータリアンは早期退会はしないというジンクスがあるそうです。2016年ソウルの国際大会には日本から約7,000人の登録を得て、ロータリー史上最高となる43,000人が150カ国以上から集まりました。(正式な最終登録者数は後日、RI本部より発表される予定です。)会場の規模も、アトラクションも、それに応えるものでした。多くのブースがあり、コーディネーターも地域リーダーのブースにてお手伝いをしました。3月シカゴ郊外のエバンストンにあるロータリー本部で研修をしてきた世界中のコーディネーター仲間と再会できました。日本からのガバナー、ガバナーエレクトにも会場でお会いしましたが、残念ながらブースに立ち寄られた方は少数でした。アトランタでも設営されると思いますので、次回はぜひお立ち寄りください。(Zone2 RC 田中正規)



人類に
奉仕する
ロータリー

地区大会 2016-2017年度 国際ロータリー第2510地区

ホストクラブ / 札幌南ロータリークラブ

会場: 札幌パークホテル

第1日目
2016 10/1 (土)

13:30 会長・幹事会
14:50 地区指導者育成セミナー
18:00 RI会長代理歓迎晩餐会

第2日目
2016 10/2 (日)

9:00 本会議
10:30 スパウス
13:00 記念講演
16:00 懇親会
(着席にてお食事を
ご用意しております。)

2016 9/30 (金)
記念ゴルフ大会

登録料 5,000円
《会場》
札幌ゴルフ倶楽部
輪厚コース
〒061-1264
北海道北広島市輪厚77
TEL: 011-376-2231

登録料	■会 員	15,000円	■ご家族	10,000円
	■青少年・学友	5,000円	■RI会長代理歓迎晩餐会	12,000円



2016-2017年度
国際ロータリー第2510地区
地区大会事務局
〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 藤井ビル TEL: 080-9610-3369 / FAX: 011-207-2512
mail: 2510sapporo.south.rc@gmail.com

地区カレンダー(8月・9月)

8月 会員増強・新クラブ結成推進月間	
1(月)	公式訪問(長沼RC)
2(火)	公式訪問(札幌清田RC)
3(水)	公式訪問(白老RC)
4(木)	公式訪問(えりもRC、苫小牧東RC)
5(金)	
6(土)	～9(火)地区インターアクト海外研修旅行(台湾)
7(日)	～9(火)わくわく森のキャンプ(岩見沢)
8(月)	公式訪問(札幌北RC)
9(火)	公式訪問(様似RC)
10(水)	公式訪問(静内RC)
11(木)	山の日
12(金)	
13(土)	
14(日)	
15(月)	
16(火)	
17(水)	公式訪問(栗沢RC)
18(木)	公式訪問(札幌西北RC)
19(金)	公式訪問(札幌幌南RC)
20(土)	
21(日)	
22(月)	公式訪問(長万部RC)
23(火)	公式訪問(江差RC、函館セントラルRC)
24(水)	公式訪問(新札幌RC)
25(木)	公式訪問(岩内RC、小樽銭函RC)
26(金)	公式訪問(苫小牧RC)
27(土)	
28(日)	
29(月)	公式訪問(函館亀田RC)
30(火)	公式訪問(函館東RC、七飯RC)
31(水)	公式訪問(函館北RC、森RC)

9月 基本的教育と識字率向上月間 ロータリーの友月間	
1(木)	公式訪問(函館RC、北斗RC)
2(金)	公式訪問(函館五稜郭RC)
3(土)	
4(日)	
5(月)	～6(火)第1回ガバナーエレクト研修セミナー(東京)
6(火)	
7(水)	2017-18地区研修リーダーセミナー(東京) 公式訪問(恵庭RC)
8(木)	公式訪問(岩見沢RC、由仁RC)
9(金)	
10(土)	～11(日)地区親睦野球大会(滝川)
11(日)	
12(月)	
13(火)	公式訪問(室蘭北RC、伊達RC)
14(水)	公式訪問(室蘭東RC、登別RC)
15(木)	公式訪問(室蘭RC、洞爺湖RC)
16(金)	
17(土)	
18(日)	
19(月)	敬老の日
20(火)	公式訪問(小樽RC)
21(水)	公式訪問(札幌モーニングRC、余市RC)
22(木)	秋分の日
23(金)	
24(土)	第37回ローターアクトアジア第1ゾーン会議(札幌)
25(日)	
26(月)	公式訪問(三石RC)
27(火)	公式訪問(浦河RC、苫小牧北RC)
28(水)	
29(木)	
30(金)	地区大会記念ゴルフ大会(北広島・輪厚)



- ①ロータリー財団の創始者。1916-17年度ロータリー・クラブ国際連合会(後の国際ロータリー)会長。アメリカ・クリーブランドRC会員。1917年、アトランタ国際大会で、「世界中で善いことをする目的のために基金を設置することは極めて妥当なように思われます」と述べ、この提案が「ロータリー基金」という名前でスタート、1928年のミネアポリス国際大会で「ロータリー財団」として認証されました。よって彼は、「ロータリー財団の父」とたたえられています。
- ②ビルガンジ・ネパール・ロータリークラブの会員は、地方政府の予防接種の日にポリオワクチンを投与します。地方予防接種日は、ロータリーのポリオ撲滅パートナー、世界保健機関(WHO)、ユニセフ、および米国疾病管理センターの研究に基づいて戦略的な場所をターゲットに行っています。
- ③2016から2017 RI会長 ジョージ・ジャムとジュディ夫人、アメリカ テネシー州 ソディデイズにある自宅の裏庭にて
- ④グアテマラ ランチョ アレグリの学校の新しい洗浄ステーションで子供たちは手を洗います。彼らの学校の水の衛生施設は、教室の水フィルター、手洗い所、トイレ、浄化槽、および排水システムを持つことになりロータリーグローバル補助金を通して改善している一校です。
- ⑤タイ国・ノンカイ市市役所前の国道沿いにある第2510地区歓迎看板です。緑の多い所だけではなく電線が多いことも今年度ガバナークラブの例会会場境界(札幌すすきの地区)に少し似て居るような気がします。(余市RC 谷川淑郎 会員 撮影)

文庫通信

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

デジタル化されたロータリー文献(4) 【下記申込先：ロータリー文庫】		
「ロータリーにおける歴史の重要性」	平島健次郎 関西ロータリー研究会	1973 53p
「ロータリーの国際奉仕」	佐竹郁夫 旭川R.C.	1979 20p
「“ロータリー・徽章の物語”ーロータリーの歴史の歩みと共にー」	長崎南R.C.	1980 94p
「合理化時代と職業奉仕」	西村祥三 関西ロータリー研究会	1983 24p
「ロータリーは何をしているか」	鳴海淳郎	1986 19p
「新会員のためのロータリーの歴史」	佐藤 信	1987 48p
「米山梅吉翁物語」	長泉R.C.	1989 26p
「ロータリー事始」	佐藤 信 福島南R.C.	1996 38p
「ロータリー雑学のすすめ」	長崎南R.C.	1996 86p
「ロータリーマジック」	江崎柳節	2010 197P

2016年8月のロータリーレート 1ドル102円

ロータリー文庫 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝祭日